

# 健康にいい 社会

をめざして



## 人とつながり、健やかに生きるために、 何ができるのかを考えます

人は社会のなかで暮らし、社会とつながって生きています。このような社会とのつながりを失うことを「**社会的排除**」といいます。欧米や日本では、所得や学歴、職業などによって健康状態に格差が見られ、社会的排除がこの格差に関係していることが明らかになってきています。

たとえば**孤立死**なども社会的排除による不幸な結末と考えられます。このシンポジウムは、誰もがつながりを保ち、**健康格差のない社会**にするために、必要な取り組みについて考えようというものです。ぜひ皆さんにご参加いただき、**私たち一人ひとりの問題**として、ご一緒に考えていくきっかけになれば幸いです。

「社会格差と健康」シンポジウム：

## 孤立死と社会的排除にどう立ち向かうか

日時

3月14日(木) 13:30～16:30 (開場13:00)

場所

東京大学伊藤国際学術センター会議場(地下2階)

**入場無料**

どなたでもご参加  
いただけます

# 「社会格差と健康」シンポジウム：文部科学省新学術領域研究事業



**Michael Marmot** 卿  
University College London  
疫学部教授

ロンドン大学教授、健康格差研究の世界的第一人者。世界の政府関係者に対し、平等な健康状態を目指す社会政策の重要性を啓蒙している。



**小塩 隆士** 氏  
一橋大学経済学研究所  
教授

社会保障や教育、所得格差の経済学について著書・執筆多数。最近は、幼少時の虐待経験が及ぼす健康影響にも注目している。



**近藤 克則** 氏  
日本福祉大学福祉学科  
教授

社会疫学が専門。地域の社会的つながりが高齢者の健康に重要であることを大規模調査で証明。各地で啓蒙活動を展開中。



**近藤 尚己** 氏  
東京大学大学院医学系研究科  
准教授

所得格差や景気動向、世帯の社会経済的環境などが健康に及ぼす影響について研究を発表、国際的にも注目されている。



**橋本 英樹** 氏  
東京大学大学院医学系研究科  
教授

医療政策学が専門。世帯の社会経済状況と健康に関する調査（まちと家族の健康調査）を通じて、社会経済政策の健康影響を検討。

## プログラム

13:30~14:00	<b>社会格差による健康格差と社会的排除；その背景と問題提起</b> 東京大学大学院医学系研究科 <b>橋本英樹</b> 氏 (シンポジウム主催事務局)
14:00~14:25	<b>ビデオメッセージ</b> 「社会的健康決定要因としての社会的排除に対する英国・EUの取り組み」 University College London 疫学部教授 <b>Michael Marmot</b> 卿
14:25~14:30	<b>メッセージ</b> 「社会的健康決定要因への取り組みこそ健康格差解消に重要である」 Harvard School of Public Health 社会行動学科 教授・学科長 <b>Ichiro Kawachi</b> 氏
14:30~14:40	休憩
14:40~16:10	<b>シンポジウム</b> 「社会経済的要因による社会的排除と健康影響、解消に向けた取り組みと課題」 座長 <b>橋本英樹</b> 氏 シンポジスト1 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 課長 <b>矢田宏人</b> 氏 「孤立死をめぐる地域福祉対策」 シンポジスト2 さいたま市保健福祉局福祉部福祉総務課 課長 <b>藤原陽一郎</b> 氏 / 同 保護課 課長 <b>清水恒男</b> 氏 「地域での社会的孤立を防ぐ；さいたま市での取り組み」 <b>コメントおよびディスカッション</b> 孤立死と社会的排除にどう立ち向かうか [社会疫学の視点] 日本福祉大学福祉学科 教授 <b>近藤克則</b> 氏 [経済学の視点] 一橋大学経済学研究所 教授 <b>小塩隆士</b> 氏 フロアディスカッション
16:10~16:25	<b>社会的排除と健康：ディスカッションのまとめ</b> 東京大学大学院医学系研究科 <b>近藤尚己</b> 氏
16:25~16:30	<b>閉会の言葉</b> 研究班領域代表 東京大学大学院医学系研究科 教授 <b>川上憲人</b> 氏



### アクセスのご案内

会場：東京大学伊藤国際学術センター会議場（地下2階）

- 丸ノ内線 「本郷三丁目」駅より徒歩8分
- 大江戸線 「本郷三丁目」駅より徒歩6分
- 千代田線 「湯島」駅または「根津」駅より徒歩15分

### シンポジウムお問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 臨床疫学経済学分野

Tel: 03-5841-1887/3514 (平日10~16時)

E-mail: heer@m.u-tokyo.ac.jp

**入場無料**  
事前登録不要